

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 28 日

評価対象事業		評価者	環境センター担当課長 朴澤 徹範	
環境-29	実施事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	環境センター
			関連課	
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	3Rの推進・ごみの適正処理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	資源の有効活用を図り、廃棄物の再使用、再生利用に関する啓発及び推進を図るため。
効果	ごみの発生抑制、資源の再使用、再生利用が図られる。

2 平成28年度に実施した事業の概要

・廃棄物の減量・資源化に関する啓発事業を実施するとともに、笛田リサイクルセンターの保守管理及び維持管理を行った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算	28年度決算	データ区分	29年度当初予算	備 考
人口等のデータ	人 口	177,243人	人 口	176,466人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世 帯 数	80,676世帯	世 帯 数	81,150世帯	
	事業の対象者数	177,243人	事業の対象者数	176,466人	
運営資源状況	決算値(千円)	138,818	当初予算(千円)	156,690	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	58,945	その他	51,330	
	一般財源	79,873	一般財源	105,360	
	人員配置数	3.5	人員配置数	3.8	
事業経費運営	人件費(千円)	26,894	人件費(千円)	30,863	
	総事業費(千円)	165,712	総事業費(千円)	187,553	
	市民1人当りの経費(円)	935	市民1人当りの経費(円)	1,063	
	対象者1人当りの経費(円)	935	対象者1人当りの経費(円)	1,063	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー NPO法人 鎌倉リサイクル推進会議
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		事業へ統合
予算規模の方向性	☐ A: 予算規模を拡大する ☒ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由
		廃棄物の減量・資源化に関する啓発を行うとともに、施設の適切な維持管理を今後も実施していかなくてはならないため。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	一般廃棄物処理の性格から、適正かつ安定的な処理が不可欠である。そのため、今後も施設の適切な維持管理、効率的な運転に努めていく。 また、NPO法人鎌倉リサイクル推進会議と協働して、各種展示、イベント及び教室等を開催し、リサイクル意識の向上に努めていく。	

